

47 8 20 発行所 釧路アスナロクラブ編集部

- 拾周年記念写真……………1
- 事務局日誌……………1
- 明日成る会……………2
- 情報化時代における
セールスマン管理……………2
- 非常と無情……………2
- 小さな親切運動……………3
- あすなろを考える……………4



創立拾周年を
祝う人々……………

事務局日誌

自昭和四十七年一月
至昭和四十七年六月

総会 一月十六日 於 宮地会館 ◎例会 四月七日(宮地会館)

本年度の総会は予算、決算、拾周年 五月例会以降のスケジュールを事
記念予算等を審議、役員改選に移り 務局より発表、兼ねて懸案の車両動
会 長 梶 正義(留任) 態調査の件 委員会制度について討
副会長 小林 久雄(留任) 議の決果廃案となる。会報について
事務局長 下 勇 横地会員より中央市場の問題点を聞
全 次長 賀 輝 夫 新入会員紹介、市橋、沢野、田中
の三氏の自己紹介あり。

監 事 太田 敏雄(留任) ◎例会 五月六日 (栄町会館)
佐々木 雄二() 防災シリーズ第一弾として交通安全
幹 事 清水 武敏・中川 章 知識の向上のため釧警利田安全交通
安藤 昭二 綿貫 利次 指導係長を招きテキスト・スライド
石井 亮一 米田 慶 を併用して勉強した。

以上の各氏を選任終了した
新入会員 美奈味 池田 文武氏
尚お五月六日市民の森植樹祭に参加

拾周年記念式典 二月二十日宮地会館 了。
◎例会 六月九日(市消防本部)
会員三十三名、来賓十四名の列席を
防火シリーズ第二弾として消防本部
得て盛大に挙行、此の日会旗の入魂
を訪れ施設見学の外、泰地会員の協
式も併せて取り行った。
力を得て消火訓練と防災映画を鑑賞
上田予防課長の千日デパートの教訓
を受講す。

例会 三月七日(宮地会館)
先に行った式典の反省を行いフリー
トーキングを行う。
特に東南アジア旅行を終え帰朝した
瀬村会員の旅行感想を聞く
尚お新入会員の自己紹介を兼ね浅川
片山、中村、岩田、杉村各氏のスピ
ーチもあった。

◎高橋 力会員の後任として二井田
氏入会する。

六月四日雌阿寒登山を行う。此の日
安藤会員をリーダーとして快晴の新
緑を踏みしめ参加会員大いに若さを
謳歌する。

詠歌する。

詠歌する。

詠歌する。

詠歌する。

詠歌する。

詠歌する。

詠歌する。

詠歌する。

明日成る会

沢野 浩

私の仕事は司法書士であるため、一種の役場のようなものであるから採算など関係ないように思われがちである。

然し、規模が弱小なので私の事務所こそ効率を良くするための「方法」を発見し、これを実行する必要があると思っている。

それでは、その方法を発見する方法は何か、ということになると根本的には、それは、ますく「孤立するか」ますます「集団に属するか」の問題であると思う。

他人との交渉や、集団に属しない人は、恰も真暗な洞窟で一人で生活しているようなものである。

そのような生活を長くしていると、知らず知らずのうちに、東京の蛙は東京しか、釧路の蛙は釧路しか知らなくなつて、「世界の蛙」にはなれなくなつてしまう。そのとき、企業はもう崩壊しかけているに違いない

自分一人で考えているのは誤っているか、正しくてもその成果の程は知られている。然し色々な業界の人に接して、その人達から深刻な悩みや、大きな希望を生む声でよくと瞬間に素晴らしい着想や深い反省が湧きあが

ってくることもある。

方法の発見はこのときだと思ふ。幸い当会員の職種は非常にバラエティに富んでいる。それだけに、悩みも多種多様、悩みの程度も深刻であ

る。方法発見の素材が豊かである物事を「他角的に検討」する機会に恵まれているということになる。更に幸いなことには、当会員は割合サックパランのように思う。素材が豊富でも、その素材を気軽に提供してくれなければ意味がない。だから私は、例会があるとわざと知らない人のとなりに座つて、その人の話を黙って聞くことにしている。成程と思うことが沢山聞けることは楽しいことだ。

私は今迄仕事の研究には没頭してきたが、人と話す楽しさや、人の話を聞く楽しさを知らないで何時の間にか四十歳を越えた。これでは人間失格だと思つた。四十にして迷ひ五十にしてその非を知るという言葉が身に沁みた。そこで平生、何か私の性格に合うサークルがないかなと思つて来た。或る日のこと、北海道新聞にサークル紹介が載つていた。あすなろ会と出ていたが、私は「明日成る会」の意味の事だなと思つた。何か研究サークルのようで庶民的な印象を受けた。向上しようという意欲に満ちた団体のように思えたので早速知人の佐藤六郎さん、佐々木雄二さん、池ヶ谷栄一さん、太田敏雄さんの助力で入会させていただいた。だから私は、自分の仕事の進歩に對するヒントを会員から体得するため入会した。しかし、そのヒントは激動期の最中のヒントでしかないから、会員から得た情報は大局的に役立たせたいと思ふ。だから私はあすなろ会は「明日成功しよう」と激励し合う同志会だと理解している。その意味で、今後のご指導、御鞭撻を衷心より御願ひ申し上げ入会の挨拶とさせていただきます。



雌阿寒に挑む

六月の蒼空の下、会員有志うち揃つて雌阿寒岳にアタック無事山頂を極めた。リーダーの安藤昭二君は大いにハッスル行き交うパーティーの嬢さん方に大モテ「あすなろの方ってハンサムでとても親切」だつて……。

情報化時代におけるセールスマン管理

一九七〇年代は「情報化の時代」といわれている。企画マンや調査マンだけでなしにセールスマン及び営業マンの世界にも情報化の波が押し寄せ、個人の好悪感情とは無関係に進化するであろうし、数年前と違つて社会の流れは、だんだんと、そのテンポが速くなつていく。

私共美容業界としても「情報化の時代」に突入した今日、あまりノンビリしてはいられない情勢下にあるのではないか。ところで、セールスマンや営業マンにとつて「情報化」とは一体何んであろうか。どうもとらえどころのない話がある。というのが大方のセールスマンの本心ではないであろうか。

（例）ヤマキ高橋 杉村 泰光

非情と無情

テレビのドイツ映画にこう云うのがあった。ゲベウの追跡を逃れて子連れの夫婦スパイがある物かけに連れて居る。軍用犬を連れてゲベウが百米位先からこちらへやつて来る。とたんに母親が抱いて居る赤ん坊が泣き出した。父親が赤ん坊の口をふさぐ。泣きやんだがもちろん息は出さない。母親が祈る様なうらめしい様なまなざしで父親を見つめて居た。ソファーに寝そべつてかいる気持ちで見て居た私も起き上つてじいと見つめて居たがだん／＼息苦しくなつて来た。十秒、二十秒。コツコツ。

北織女

小さな親切運動

太田敏雄

高度経済成長が達成され、国際社会にはその実力を認められて、豊かな物質生活に恵まれた暮しのなかにあっても、何か不足していると識者から日本人の心の在り方を云々されておりますが、私のところでは、七月号の広報誌と社内報を通じて「小さな親切運動」を呼びかけております。

この運動は、元東大学長であられた芽誠司先生を中心とする全国運動であって、かなり以前から唱えられて北海道では薬品卸業界の大手秋山愛生館社長がこの運動の推進委員長として熱心に活動されていることを知りました。

親切とは、国語辞典に依りますと「人情があつること。好意をもって人の便宜をあれこれと計ってあげる」と記されてあります。

運動の主旨は、経済が成長し物質文明の恩恵を如何に享受しようとも、今の社会に生活する人々の間にあたたかい心の触れ合いがなければ、人々は孤独であり真の幸福感に達することはできない。そこで「国民の一人一人が親切な心で接し、真に豊かな幸福を得る出発点となろう」というものであって、今や全国的な広がりを見ている運動と云はれております。

「小さな親切」八ヶ条

一、朝夕のあいさつを必ずしす

しよう。

二、はつきりした声で返事をしましょう。

三、他人からの親切を受け入れ「ありがとう」と云いましょう。

四、人から「ありがとう」と云はれたら「どういたしまして」と云いましょう。

五、紙くずなどをやたらに捨てないようにしましょう。

六、電車やバスの中で老人や、赤ちゃんを抱いたお母さんには席をゆずりましょう。

七、人が困っているのを見たら手つだて上げましょう。

八、他人のめいわくになることはやめましょう。

ここにあげられた八ヶ条は当然のことばかりで、ペーパーテストをする小学生でも答えられ且つ誰でも実行可能なことばかりであります。それが実行されないからこそ、この運動が提唱されるのであります。知っているだけでは、身についたとはなりませんし、一時的なものではなく習慣化されなければ本物とは云へません。

数年前、私は上京の折国電の中で空席がなかったので釣りに手をかけ空いた手でカバンを下げて立っておりましたところ、前の席の中年の婦人がカバンをお持ちししようと

膝の上に乗せてくれました。今でもそのスマートな親切心を思い

出して最近の人々の心は、その頃とどう変っているか考えてしまっています

われわれは、自分の知っている人に対しては親切にするが、全く知らない人に対しては無関心を装いつ

ているものと思はれません。

親切にしたい気持ちが動いても、別の心がめんどろだ、照れ臭い、恥かしい、など働き遂に行動に表はれず

終りになり勝ちであります。此の運動に参加の機会からは積極的に

行かねばならないとおもっております。

この「小さな親切運動」の輪が日本中に広がって行くとき、人々の品性は高められ、心豊かな幸福を感じ

る世の中となることでしょう。完

粉末消火器



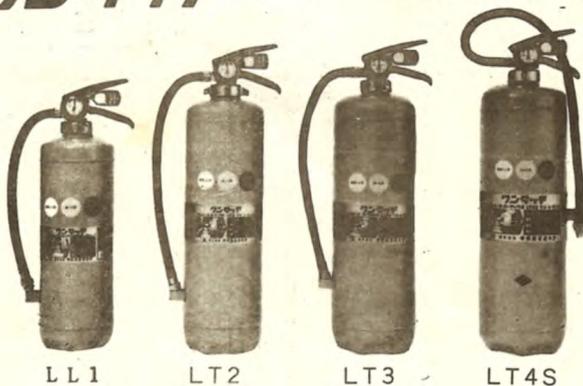
UT 10

UT 20

UE 4 II

- (1) 油火災に最も適し、普通火災、電気火災にも適します
- (2) つめかえれば何回でも使えます
- (3) 消火剤は無害です
- (4) 衣服などに薬剤がついても簡単に払い落とせます
- (5) ゲージつきは常時容器内に圧力がかかっているため安全です

ワンタッチローデックス(強化液消火器)



LL 1

LT 2

LT 3

LT 4S

LL 1	8,900円の処	5,340円
LT 2	14,000円の処	8,400円
LT 3	16,000円の処	9,600円
UT 10	13,000円の処	7,800円
UT 20	18,000円の処	10,800円
UE 4	8,300円の処	4,800円

ワンタッチローデックスは強化液を消火剤とする一動作型の蓄圧式消火器です。特に木材、繊維・紙などの普通火災に対して抜群の消火力を持ち、又、油火災・電気火災にも使用することが出来ます。

お店訪問 中央消火器の巻

此の度び中央消火器の泰地会員の厚意により左の消火器を別表の価格で頒布していただく事になりました。

非常の場に備えて、各家庭に事務所等にお備え下さい。

申込は森下事務局長迄 TEL 22-11890

事務局で一括して発注致しますので来る九月の例会迄にお申込み下さい。

あすなるを考える

会長 梶 正義

あすなるはこれで良いのであろうか。あすなるの体質改善を要望する声をよく聞く、とりわけ、若い人の間から、その危機感を訴えられる。過去拾年を歩み、反省の機会をもつ事も必要であろう。体質改善を要望するその意図は、あすなるの期待感と同居している入会前のイメージと入会後の実態とは可成りの間隔があるらしく脱皮する事を期待しているのである。

あすなるビジョンの認識の相違は古い会員の間にも二分した形で存在しているし之を統一していく事は拾年を歩んで来ただけに簡単に手術出来るものでもなさ相である。然しあすなるの明日の為に、何らかの形で古い悪血は抽出し新鮮なものに代えなければならぬそのために少く共、機関尊重と民主主義ルールに則った運営が必要であろうと愚考する。そんな事を念頭に日頃うっ積するボヤキを取りとめなく饒舌した。所詮会長なんて孤独なものである。独言と読み流していただければ幸いです。



月日の立つのは早いものです。会を創立して早や拾年は夢の間に過ぎて頭に霜の重なるのも無理ないなと思うのです。

どうやら記念式典も記念事業もその大半を消化して私の任期も終りを告げんとしておりますが、会運営の鍵を託されて二年目、いろ／＼考えさせられる事が多かった様に思いますその一つに人間関係が大きなシコリとなって胸に疼いております。

各々の顔、容が異なる様に考え方も

随分異なる事に気づいた事です。激論の後、切ない程の孤独感にさいなまされた事も多かった様に記憶してありますしこれを時代の断層というのか、思想の断絶というのかと理解し切れないまま、に思い悩んだ事もありました。そんな時「永年連れ添った女房ですら意のまま、にならぬ当世だもの況や千軍万馬の強者の集いに於ておや」と常に自分を慰め、努めて自分に偽っても妥協の道を求めて来ました。

だが私の奇異感にふれた諸問題は当然今後尾を曳くものと考えますので敢てふれてみたいと思うのです。

◎組織活動とその基盤

第一に組織活動と人間脈脈の關係についてですが、過去拾年の歴史を通過するとその必然性が理解されるのですが、組織的活動を軌道に乗せようと努めても時々障害が多いという事です。会結成当初は親交関係者少数の集いでしたし、二次的に増えられた交り少ない人々であつても少数であつたから多面接触により人間関係が整い易かつた。又本会に入会された方は今も昔も非常に多才で色々な面で秀れた人の集団ですので、その人の持味で大いに会を魅力つけたし、その活動もユニークなものと評価されたものです。

然しそれらの好材料も長く会を支配するには決定打に欠く恨みがあります。名演技も何べんも見ていると飽きてくる例えに似て、その事が此の会の在り方について種々論議された事もあつた。あすなるは研修機関なのかサロンなのか……然し表面、これと真正面に取り組んでそのいずれなのか、然らば何故に、その理想像とは論じ合つた事はなかつた随つて抽象的な会の信条と比較的融通性に富んだ会則のみが運営の準拠となる為に進向方向の振幅も大きい結果となつて居ります。

随つて此の会の認識の相違と、特定の気の合う人達のいわば分派的な代

長意見が、ともすると機関の外で合意を造り上げ会の運営がそれに振り廻わされて居る現状を私は神経質に感じられるのです。

その様な意味で問題を集約して組織的に解決しよう或は事を発展させようとしても種々の障害につき当るのも必然的なのだなと力不足の私は当惑しております。

全員で会をより立てよう

私は就任早々「原点復帰」を標榜してその抱負を理解していたが、くため概括的に役員会に話しましたが説得力不足で反論が優先して終つた様で然らば形を変え私の考え方を注入しようとなつて来ました。それが組織・企画・研修の三委員会設置であります。

この事も提案趣旨は例会で認められ実行段階で屋上屋下という不用論で私は撤回せざるを得なかつたのです。此の時も非常にショックを受けました。その事は経済交流を調べようという自動車乗り入れ調査の件とも軌を一にしております。例会で趣旨賛同を得ながら次期例会で覆えされるという。提案の技術的まですさによるのかも知れませんが、かんぐれば随分意地悪な仕打ちだなとも考えられるのです。

此の二提案には私の試みとして大きな意義をもつていたのです。

それは就任初年度は拾周年記念事業の諸準備に総てをかけてましたからこの事の合意は既に出来上つていた

から問題はなかつたのですが式典を終え平常会務の推進のために式典を中心にご激励に増えた新入会員を含め大きくふくれ上つた会を御して行くには、新入会員の方々の為めには旧会員との接触を多くし早く溶け込んでいたたたかたし、又皆なで何かを為す事の連帯感を狙つていたのです。

皆なで楽しく郊外で自動車の往來を調べて何等かの意義を求めようとする案。

会は俺達のものという意識レヘルアップのため諮問機関として三専門委員会常設し全員で会務を推進しようという案。

いずれも否決されましたが、私は民主的に公平に会務を司るためには是非必要な事だと今だに未練たつぷりです。

組織委員会は会員優遇のため細事に涉り個々の会員の慶弔の情報を集め人間関係の調整を、会の組織強化のため企画立案していただく。研修委員会は会員の所望する研修種目と時期、講師等の選定。

企画委員会はそれらの総合調整と将来ビジョンの設定等；これらが織りなしてこそ始めて組織活動が充実してくると思ひますし、個人プレーが優先してゆく弊害がなくなると思ひます。長々と駄弁をろうりましたが要は吾々会員はあすなるの旗の下に慶びも悲しみも共にしようではありませんか、それを云いたくて長談議に終始したのも私の話術の拙劣さだとお嘲い下さい。